

DSDフォーマットの再生設定

Windows PC編

RATOC Systems, Inc.

RAL-DSDHA2はWindows 8/7/Vista/XPに対応していますが、DSD音源をネイティブ（PCM変換せずに）再生する組み合わせには制限があります。ここでは弊社推奨の環境であるフリーソフトfoobar2000と、有料ソフト HQPlayerの設定について説明します。

foobar2000で再生する

1 再生ソフトとファイル形式について

フリーソフトfoobar2000を使用するDSDダイレクト (DoP Standard 1.0準拠) 再生について順を追って説明します。

※下記の設定はRAL-DSDHA2のドライバーインストール後におこなってください。

【必要なソフトとコンポーネント】

- ・ foobar2000（音楽再生ソフト）
- ・ foo_out_asio（foobar2000用ASIO出力コンポーネント）
- ・ foo_input_sacd（DSD音源再生用コンポーネント）

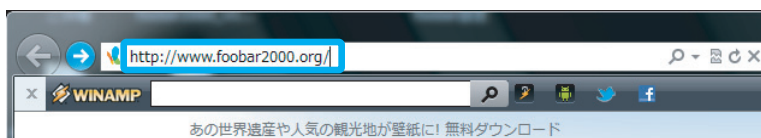
【再生可能なDSD音源のフォーマット】

- ・ DSF形式ファイル
- ・ DSDIFF形式ファイル

1 -1. foobar2000のダウンロード

※画像はインターネットブラウザにInternet Explorerを使用した場合です。他のブラウザを使用の場合、表記が一部異なります。既にfoobar2000をご利用の場合は、「**2** コンポーネントの追加」に進んでください。

1. インターネットブラウザを開き、下記のURLにアクセスします。
<http://www.foobar2000.org/>

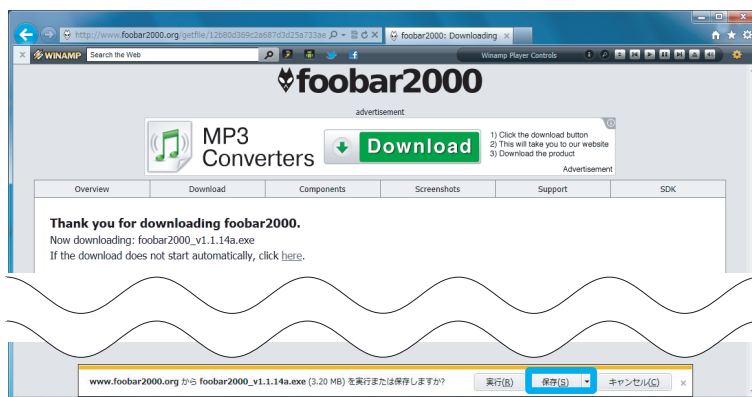


2. “Download” タグの “Latest stable version Download foobar2000 v1.1.14a” をクリックします。
※バージョンアップにより、表記は更新されます。

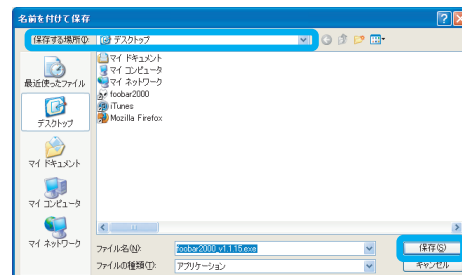
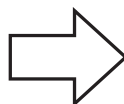
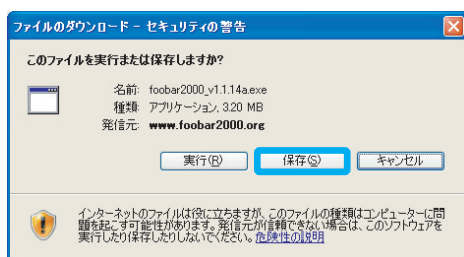


3. 【保存】 をクリックします。

Windows 8/7/Vistaの場合



Windows XPの場合

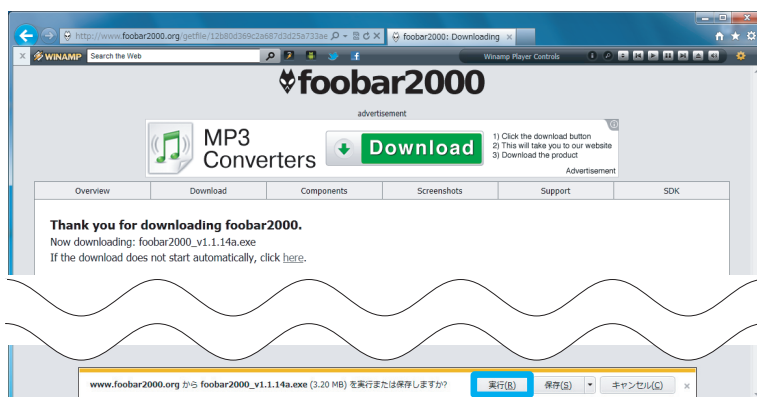


保存する場所をデスクトップに指定し、【保存】 をクリックします。

1-2. foobar2000のインストール

1. インストーラーを起動します。

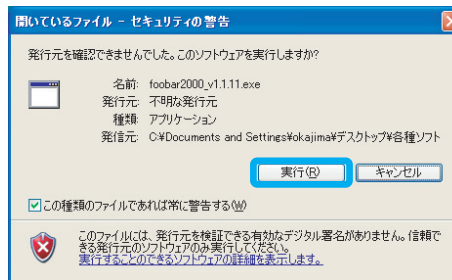
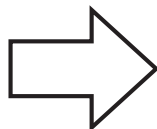
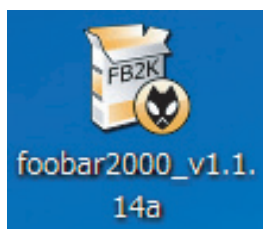
Windows 8/7/Vistaの場合



【実行】をクリックします

※【ユーザーアカウント制御】画面が表示されたら、【はい】または【続行】ボタンをクリックします。

Windows XPの場合

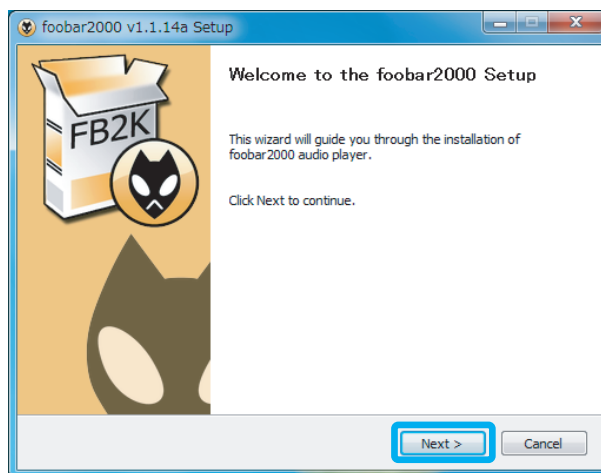


デスクトップ上の“foobar2000_v1.1.14a”をダブルクリックします。

【実行】をクリックします。

※【ユーザーアカウント制御】画面が表示されたら、【はい】または【続行】ボタンをクリックします。

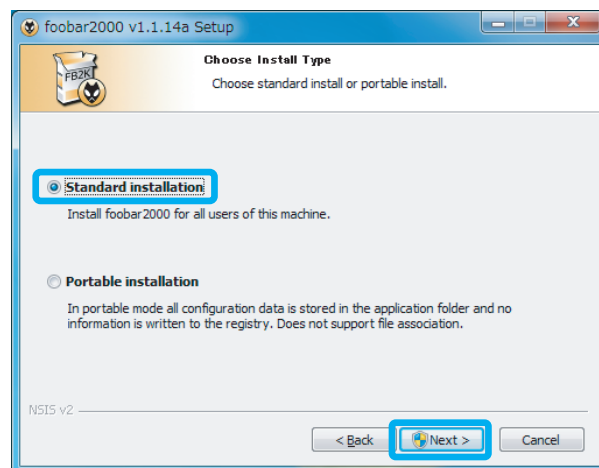
2. インストーラーが起動したら、【Next】をクリックします。



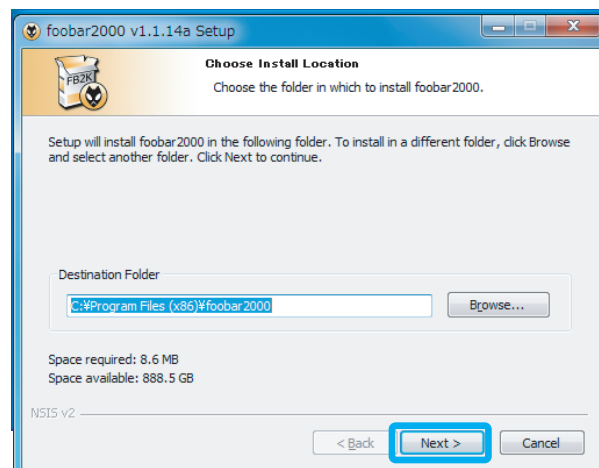
3. ライセンスが表示されます。問題がなければ【I Agree】をクリックします。



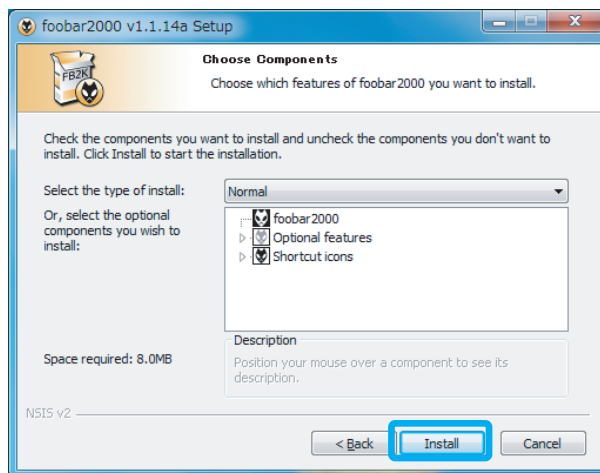
4. インストール設定が表示されます。“Standard installation”が選択されていることを確認し、【Next】をクリックします。



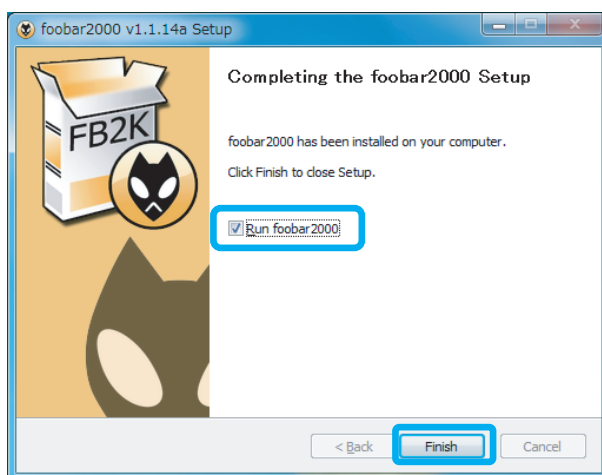
5. ファイルの保存先を設定します。【Next】をクリックします。



6. コンポーネントの選択画面で【Install】をクリックします。



7. インストールが完了しました。“Run foobar2000” からチェックを外し、【Finish】をクリックします。

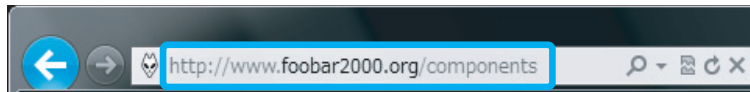


2 コンポーネントの追加

foobar2000でのDSDネイティブ再生(DoP Standard 1.0準拠)は、各コンポーネントの追加することにより実現します。下記の手順に従い各コンポーネントをダウンロードし、設定をおこなってください。

2 -1. foo_out_asioの追加

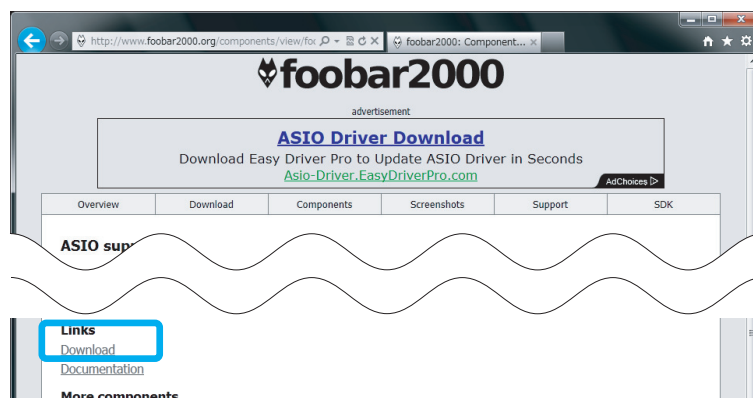
1. インターネットブラウザを開き、下記のURLにアクセスします。
<http://www.foobar2000.org/components>



2. “ASIO Support 2.1.2” をクリックします。
※バージョンアップにより、表記は更新されます。

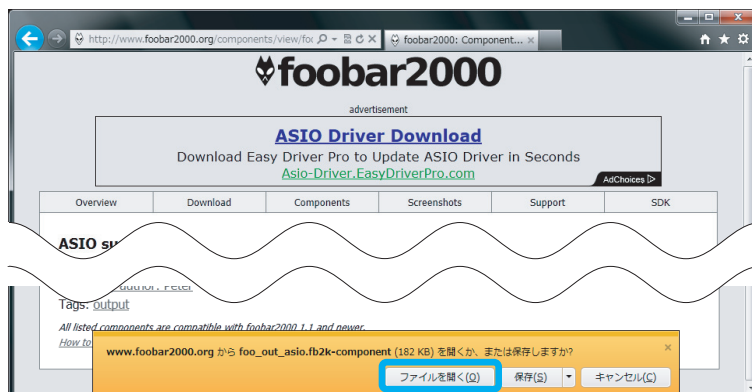


3. Links内の“Download” をクリックします。

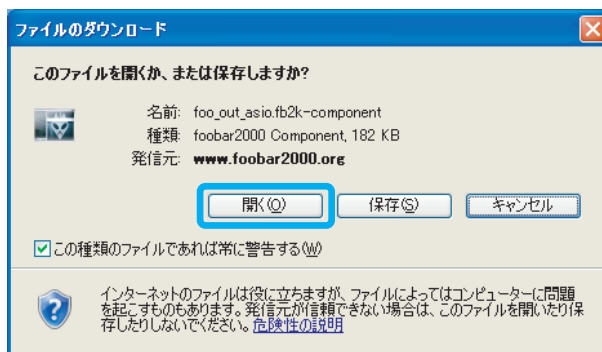


4. 【ファイルを開く】をクリックします。

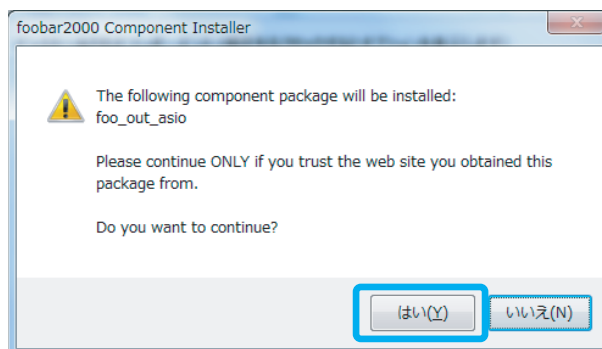
Windows 8/7/Vistaの場合



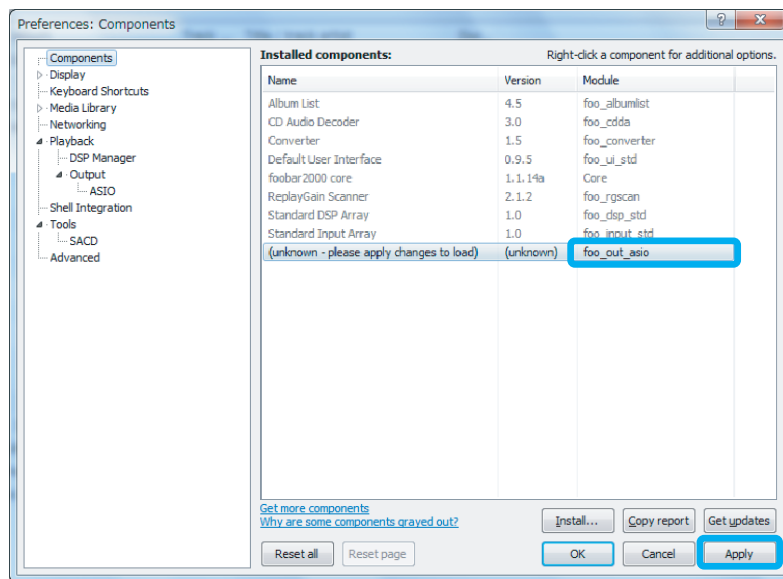
Windows XPの場合



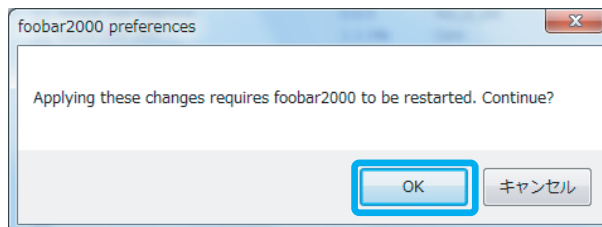
5. foobar2000が起動し、下記の画面が表示されます。 【はい】をクリックします。



6. 登録されたコンポーネント内に“foo_out_asio”が表示されます。“foo_out_asio”を選択し、【Apply】（日本語表記では適用）をクリックします。



7. 下記の画面が表示されます。【OK】をクリックします。

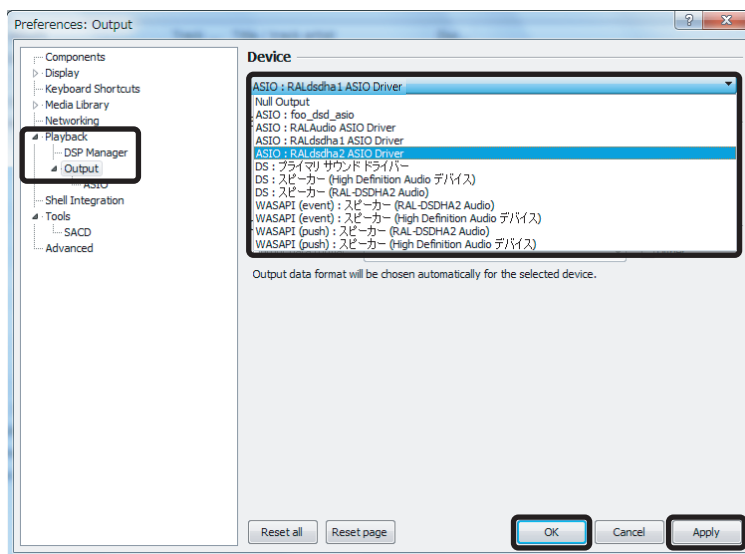


以上でfoobar2000にfoo_out_asioがインストールされました。



リニアPCM音源をRAL Audio ASIO Driverで再生する場合

【file】⇒【Components】⇒【Playback】⇒【Output】のDevice内“ASIO:RALdsdha2 ASIO Driver”を選択し、【Apply】⇒【OK】をクリックします。

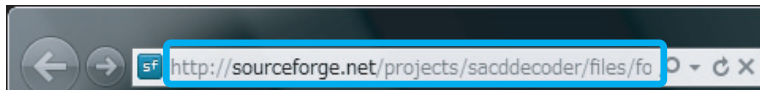


※Device内にASIO:RALdsdha2 ASIO Driverが表示されていない場合は、ASIO設定画面の“Use 64bit ASIOdrivers”にチェックを入れ、【Apply】⇒【OK】をクリックします。次項目の **3**-6.をご参照ください。

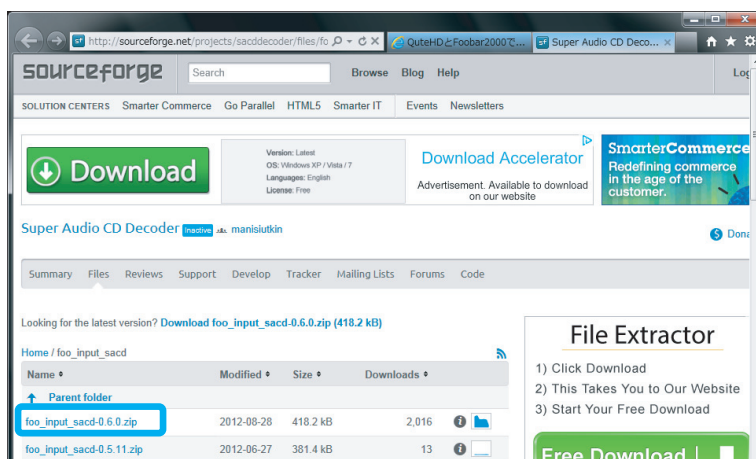
2 -2. foo_input_sacdの追加

次にfoo_input_sacdのダウンロードとインストールをおこないます。下記の手順に従いファイルをダウンロードし、設定をおこなってください。

1. インターネットブラウザを開き、下記のURLにアクセスします。
http://sourceforge.net/projects/sacddecoder/files/foo_input_sacd/

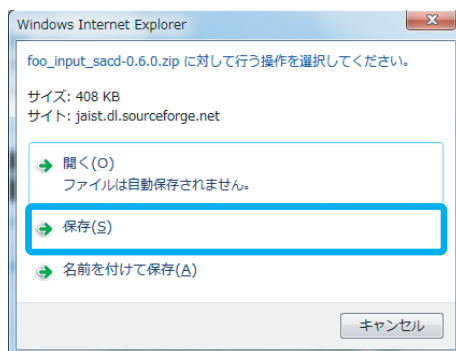


2. “foo_input_sacd-0.6.0.zip” をクリックします。
※バージョンアップにより、表記は更新されます。

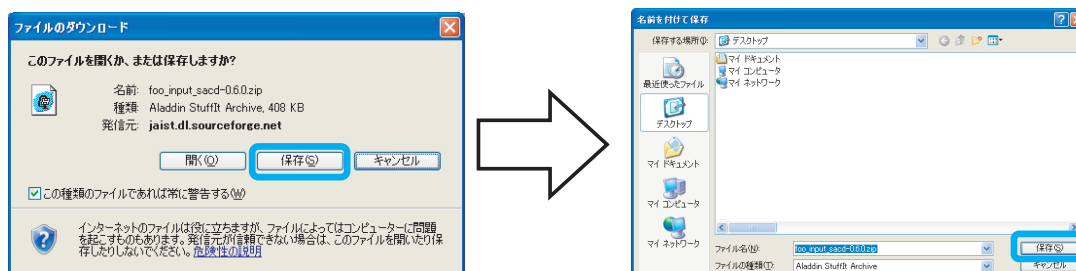


3. 【保存】 をクリックします。

Windows 8/7/Vistaの場合



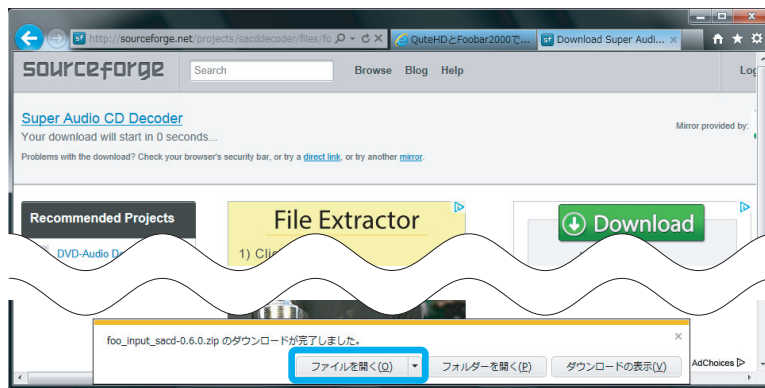
Windows XPの場合



【保存】 をクリックし、デスクトップにファイルを保存します。

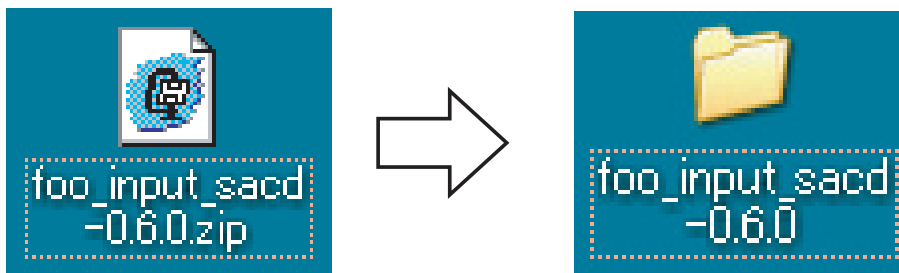
4. ファイルを展開します。

Windows 8/7/Vistaの場合



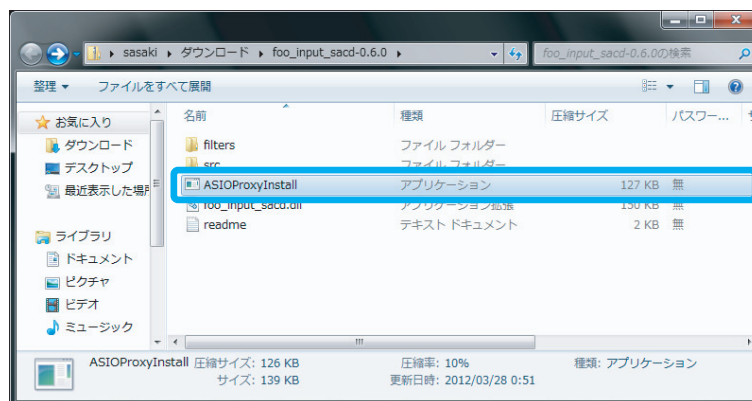
【ファイルを開く】をクリックします

Windows XPの場合

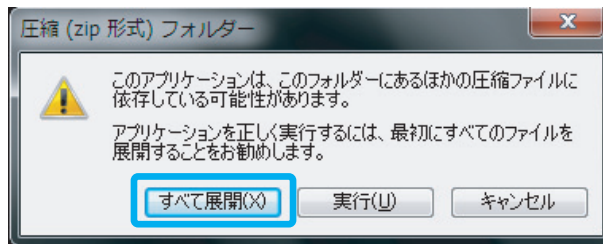


デスクトップ上の“foo_input_sacd-0.6.0.zip”をダブルクリックし、表示された“foo_input_sacd-0.6.0”をダブルクリックします。

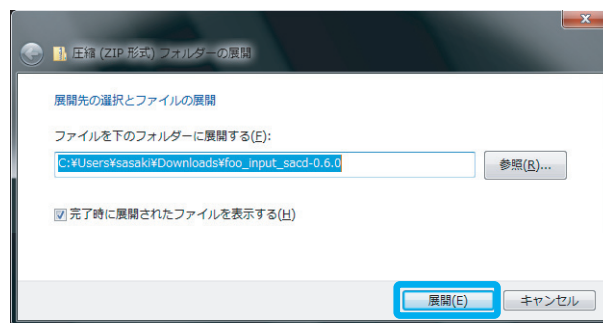
5. “ASIOProxyInstall”をダブルクリックします。



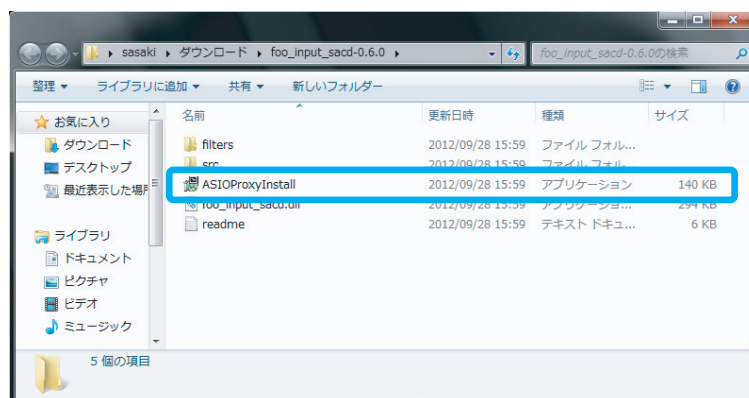
6. 【すべて展開】をクリックします。



7. “完了時に展開されたファイルを表示する” にチェックが入っていることを確認し、【展開】をクリックします。

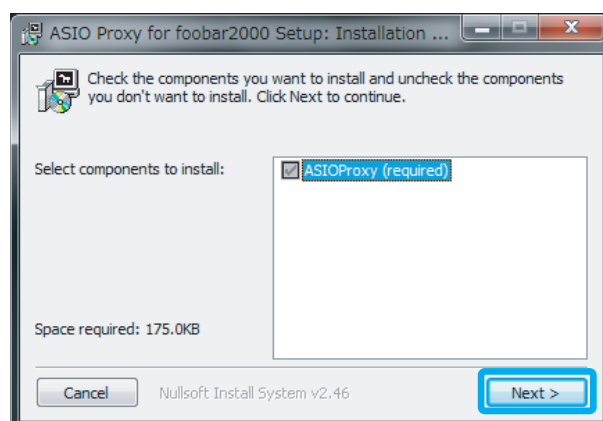


8. “ASIOProxyInstall” をダブルクリックします。

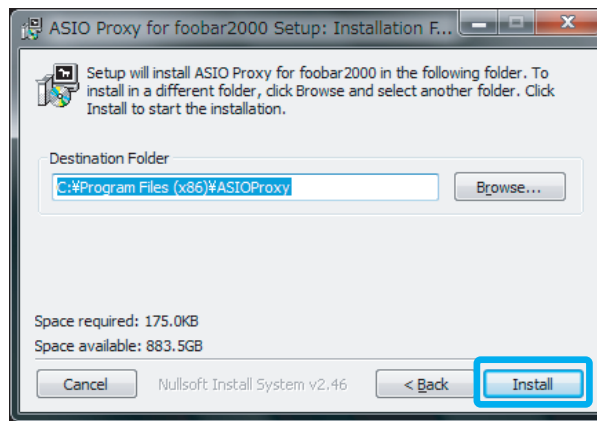


※【ユーザーアカウント制御】画面が表示されたら、【はい】または【続行】ボタンをクリックします。

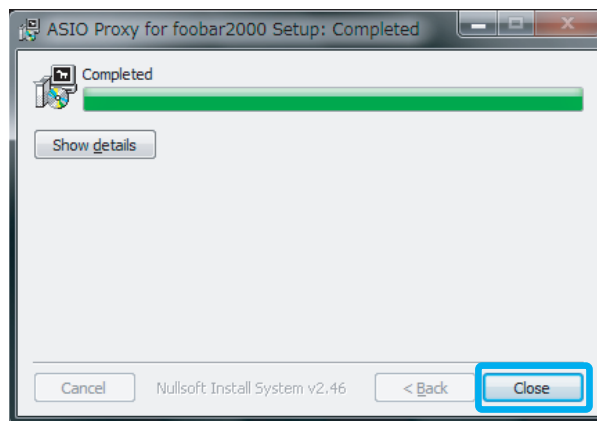
9. インストーラーが起動します。【Next】をクリックします。



10. ファイルの保存先を設定します。【Install】をクリックします。



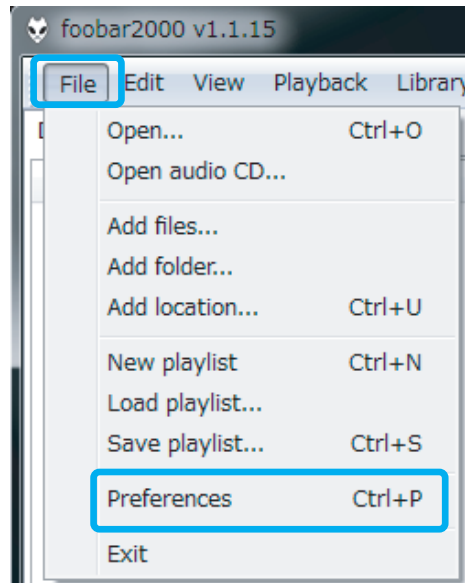
11. インストールが完成しました。【Close】をクリックします。



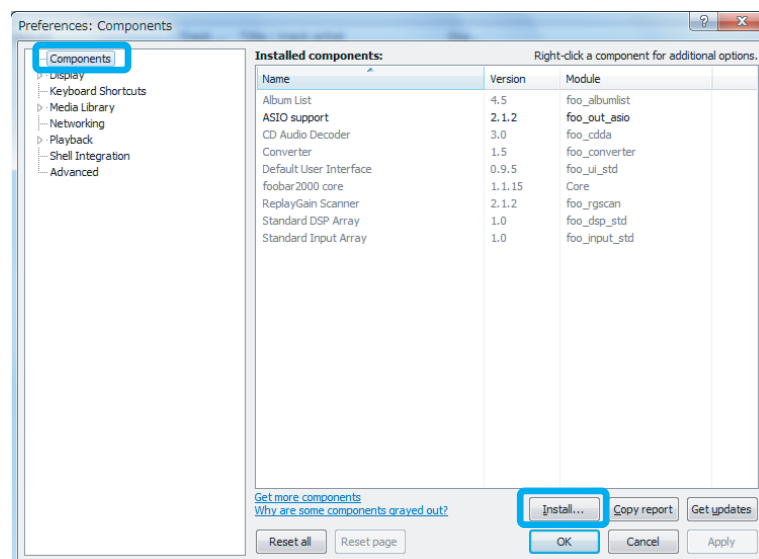
3 foobar2000の設定

前項までにダウンロード/インストールしたコンポーネント及びツールをfoobar2000に関連付け、DSDネイティブ再生を可能にするセッティングをおこないます。下記の手順に従い、設定をおこなってください。

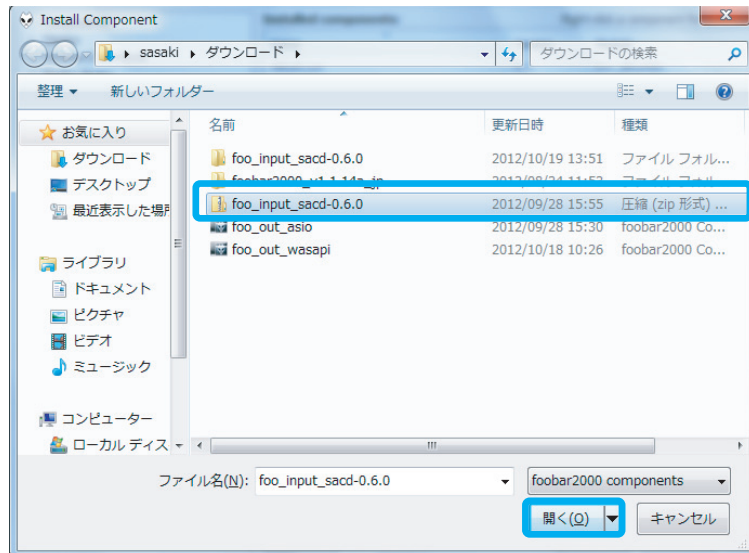
1. 【file】 ⇒ 【Preferences】 をクリックします。



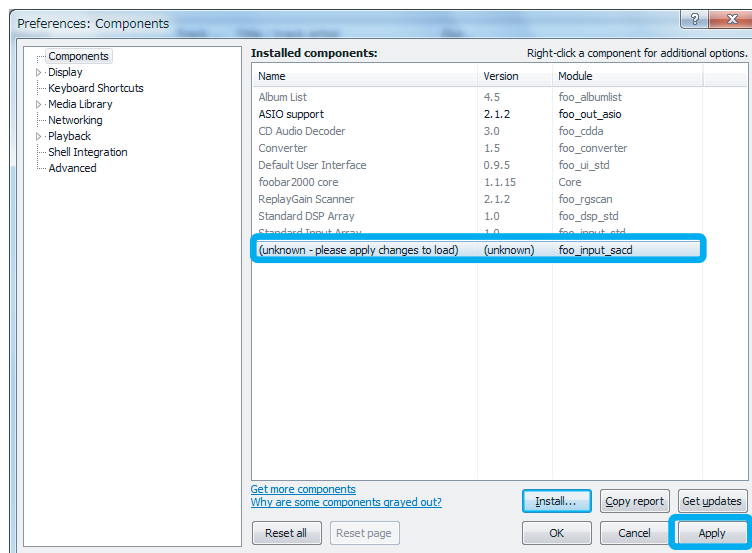
2. “Components” を開き、【Install...】 をクリックします。



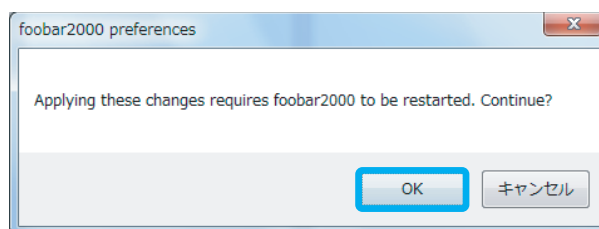
3. “foo_input_sacd-0.6.0” の圧縮ファイルを選択し、【開く】をクリックします。



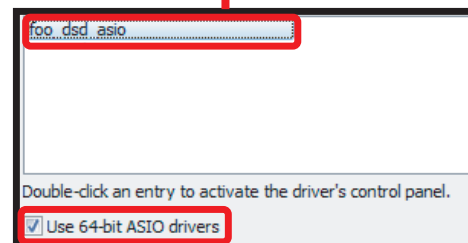
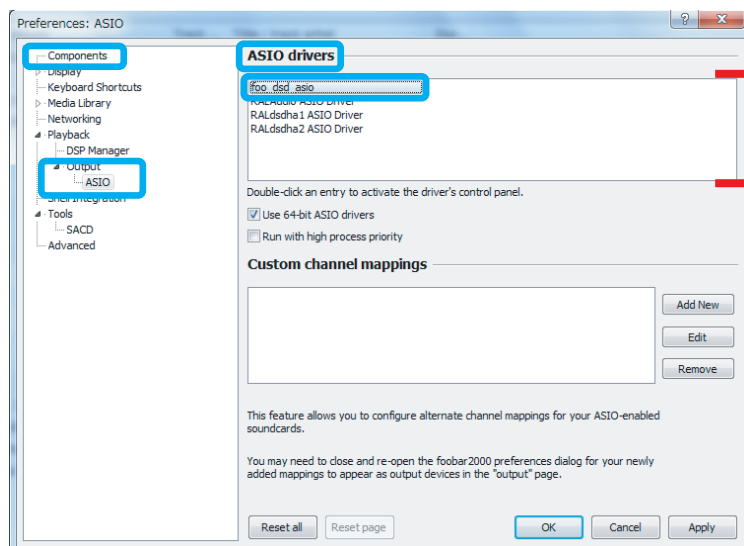
4. “foo_input_sacd” を選択し、【Apply】（日本語表記は適用）をクリックします。



5. 下記の画面が表示されます。【OK】をクリックします。



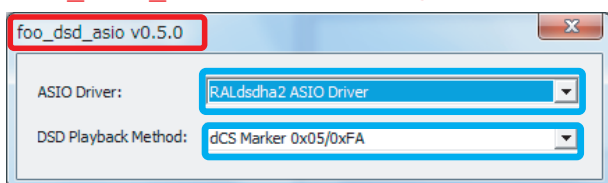
6. 【file】⇒【Components】⇒【Output】⇒【ASIO】のASIO drivers内“foo_dsd_asio”をダブルクリックします。



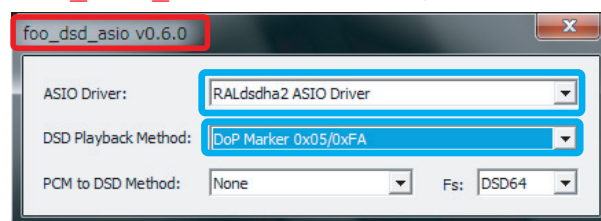
※ASIO drivers内にRAL dsdha2 ASIO Driverが表示されていない場合は“Use 64bit ASIO drivers”にチェックを入れ【Apply】⇒【OK】をクリックします。

7. ASIO Driverを“RALdsdha2 ASIO Driver”に、DSD Playback Methodを“dCS Marker 0x05/0xFA”または“DoP Marker 0x05/0xFA”にそれぞれ設定し、画面を閉じます。

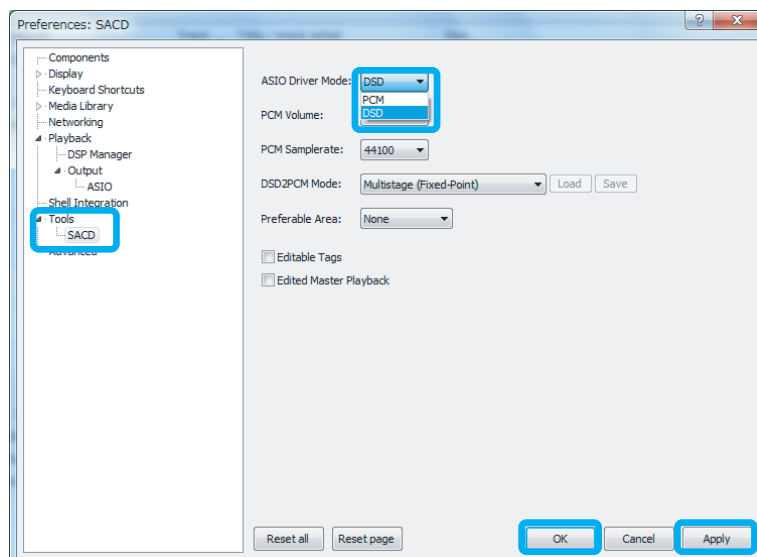
foo_dsd_asio v0.5.0の場合



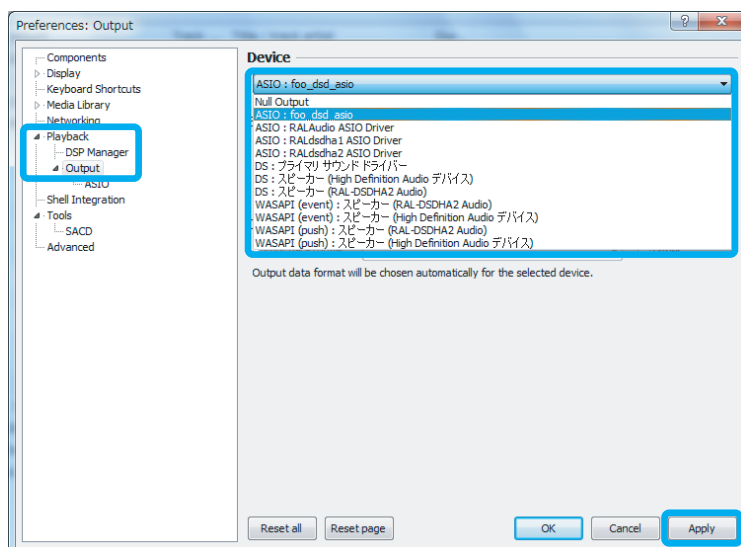
foo_dsd_asio v0.6.0の場合



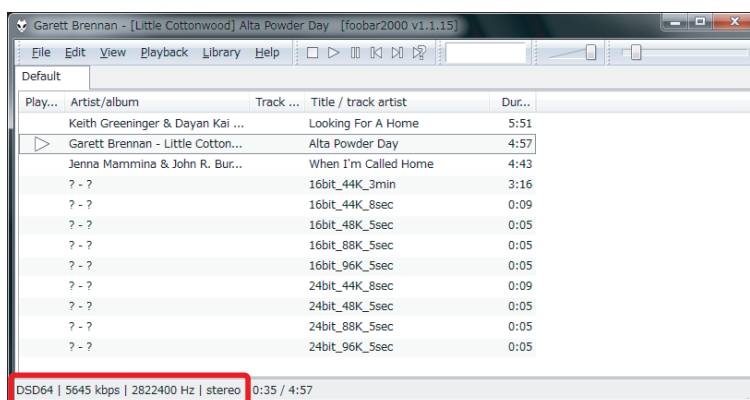
8. 【file】⇒【Preferences】⇒【Tools】⇒【SACD】のASIO Driver ModeをDSDに設定し、【Apply】⇒【OK】をクリックします。



9. 【file】⇒【Preferences】⇒【Playback】⇒【Output】のDeviceを“ASIO : foo_dsd_asio”に設定し、【Apply】⇒【OK】をクリックします。



以上で設定は完了です。プレイリスト内のお好みのDSD音源を再生してください。



DSD64 | 5645 kbps | 2822400 Hz | stereo

※DSD音源がネイティブ再生されている場合、上記赤枠内のように表示されます。



リニアPCM音源を再生する場合

上記のDSD再生設定を変更する必要はありません。音楽データの転送方式を変更したい場合は、【file】⇒【Preferences】⇒【Playback】⇒【Output】のDeviceよりASIO: RALdsdha2 ASIO Driver、DS:RAL-DSDHA2、WASAPI : RAL-DSDHA2などを設定してください。

DSDフォーマットの再生設定

Windows PC編

HQPlayerで再生する

1 再生ソフトとファイル形式について

有料ソフトHQPlayerを使用するDSDダイレクト（DoP Standard 1.0準拠）再生について順を追って説明します。

※下記の設定は、RAL-DSDHA2のドライバーインストール後におこなってください。

【必要なソフトとコンポーネント】

- ・ HQ Player（音楽再生ソフト）

【再生可能なDSD音源のフォーマット】

- ・ DSF形式ファイル
- ・ DSDIFF形式ファイル

2 再生ソフトの購入

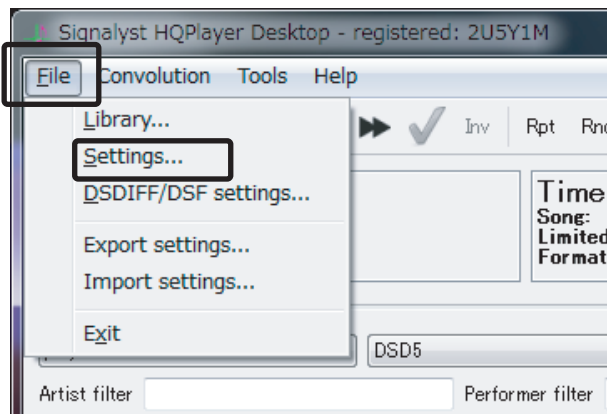
下記URLにてHQ Playerを購入してください。

<http://www.signalyst.com/consumer.html>

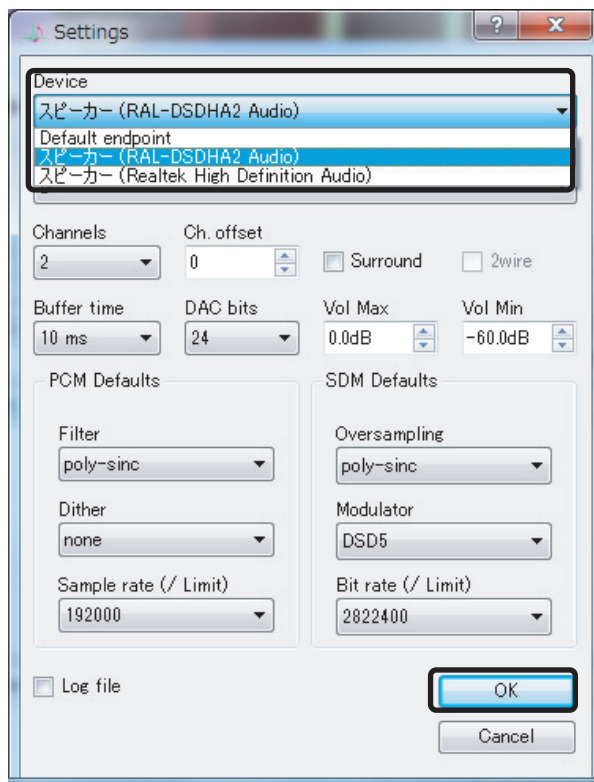


3 HQPlayerの再生設定

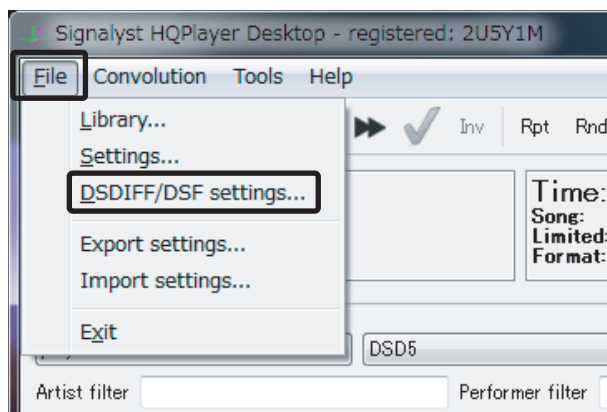
1. HQPlayerを起動し、【File】⇒【Settings...】をクリックします。



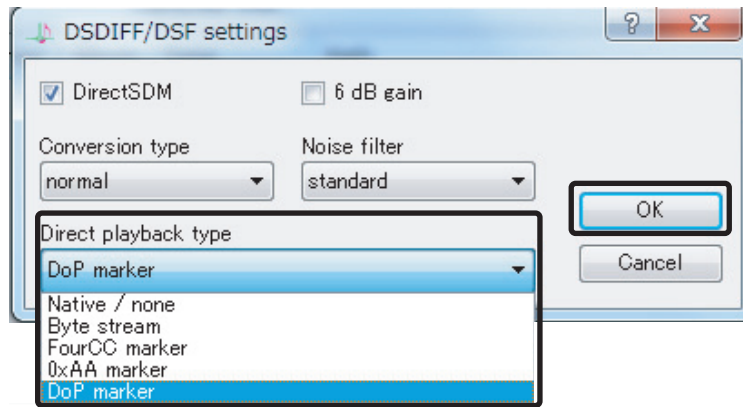
2. “Device”内の“スピーカー（RAL-DSDHA2 Audio）”を選択し、【OK】をクリックします。



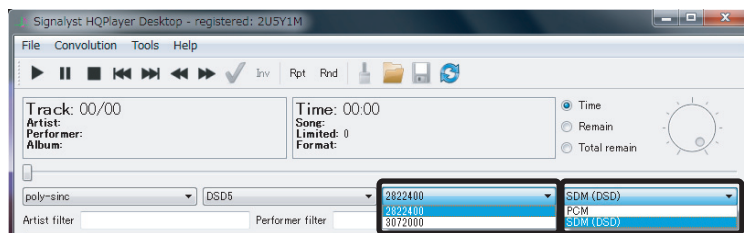
3. 【File】⇒【DSDIFF/DSF Settings...】をクリックします。



4. “Direct playback type” から “Dop marker” を選択し、【OK】をクリックします。

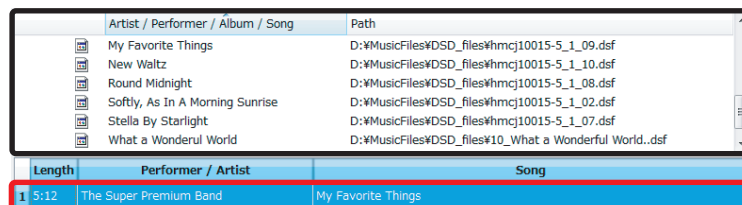


5. 再生ファイル設定から “SDM (DSD)” 、サンプルレート設定から “2822400Hz” を選択します。



以上で設定は完了です。プレイリスト内のお好みのDSD音源を再生してください。

6. 再生ファイル選択用ウィンドウから音楽ファイルを選択（ダブルクリック）し、プレイリストに登録します。次に**プレイリスト**の音楽ファイルをクリックすると、音楽が再生されます。



DSDフォーマットの再生設定

Mac編

Audirvana Plusで再生する

1 再生ソフトとファイル形式について

RAL-DSDHA2はMac OS 10.7以降に対応していますが、DSD音源をネイティブ（PCM変換せずに）再生する組み合わせには制限があります。弊社推奨の環境である有料ソフトAudirvana Plusを使用するDSDダイレクト（DoP Standard 1.0準拠）再生について順を追って説明します。

【必要なソフト】

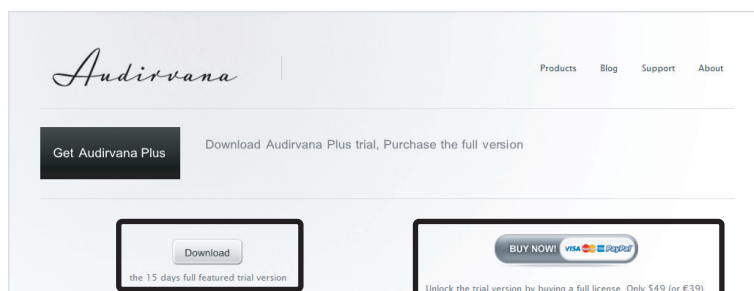
- ・ Audirvana Plus（音楽再生ソフト）
http://audirvana.com/?page_id=112

【再生可能なDSD音源のフォーマット】

- ・ DSF形式ファイル
- ・ DSDIFF形式ファイル

2 再生ソフトの購入

下記URLにてAudirvana Plusを購入してください。
http://audirvana.com/?page_id=112



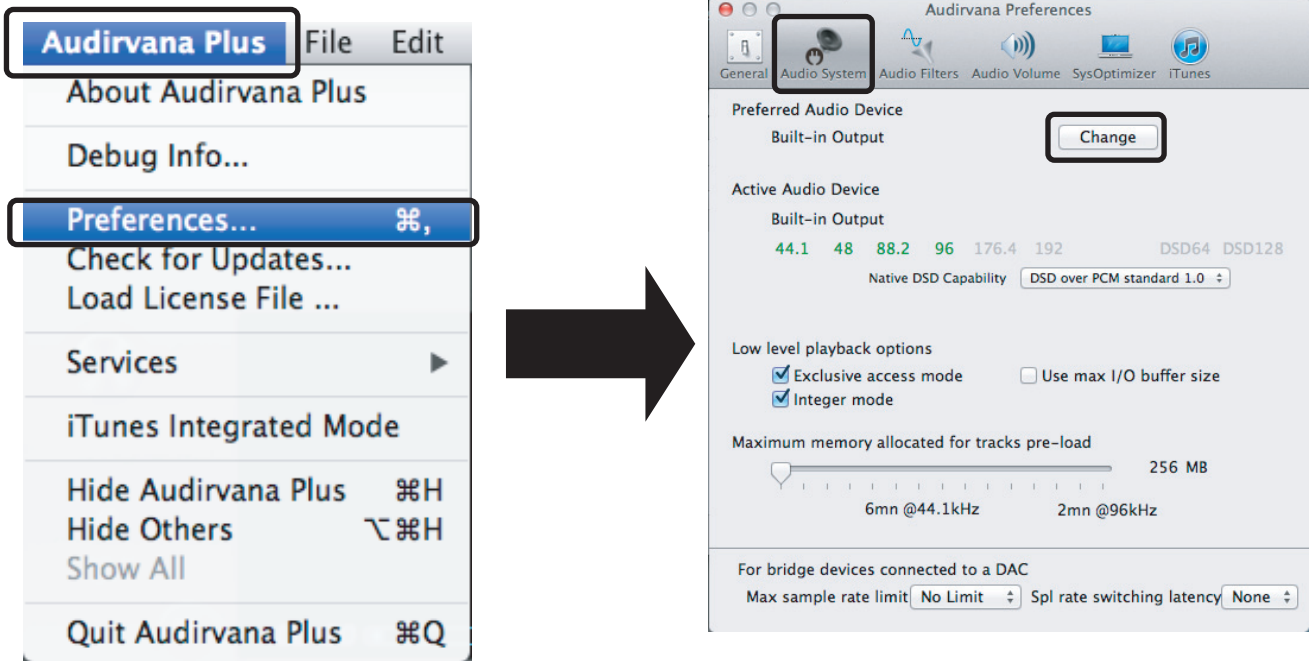
15日間の無料お試し版をインストールする場合は、こちらをクリックしてください。

Audirvana Plusを購入する場合は、こちらをクリックしてください。

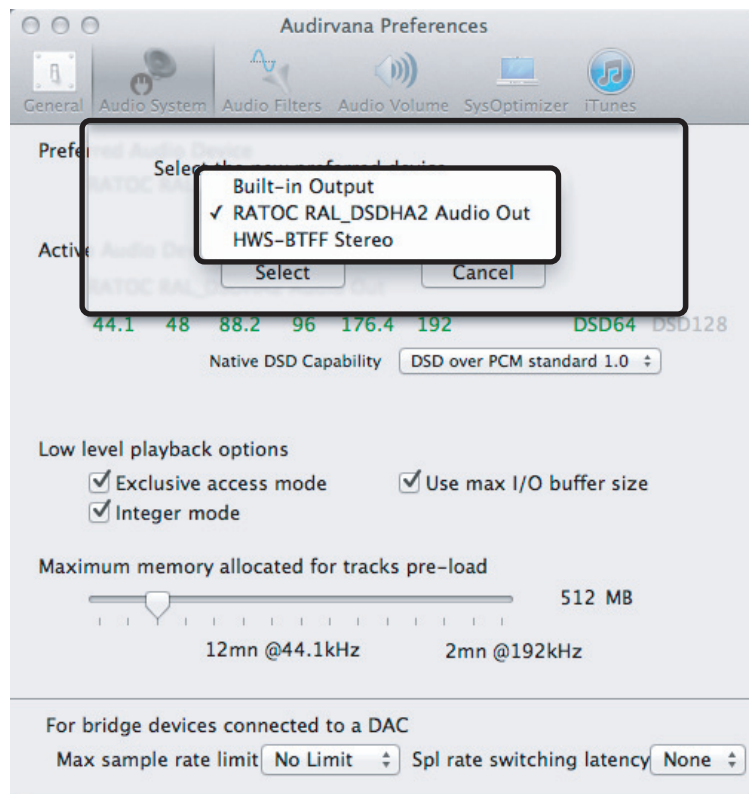
3 Audirvana Plusの再生設定

Audirvana PlusでDSDネイティブ再生を可能にするセッティングをおこないます。アプリケーションを起動し、下記の手順に沿って設定をおこなってください。

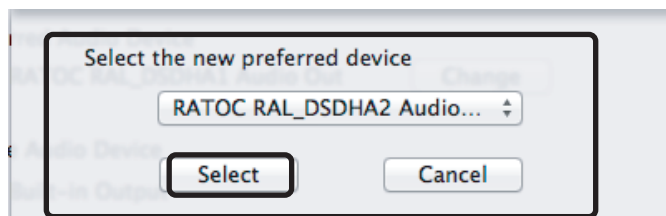
1. 【Audirvana Plus】⇒【Preferences】をクリックし、設定画面を開きます。【Audio System】タブをクリックし、“Preferred Audio Device”内の【Change】をクリックします。



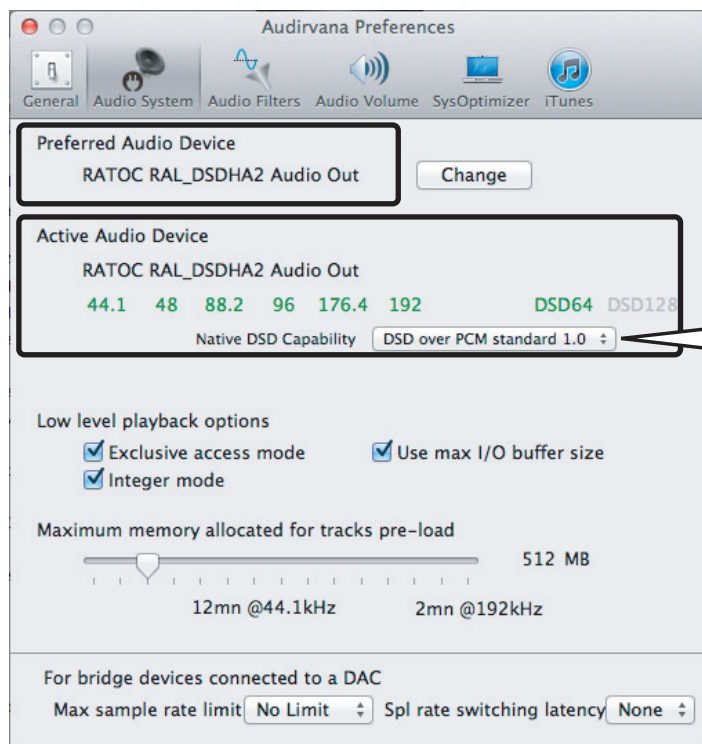
2. “Select the new preferred device”内の“RATOC RAL_DSDHA2 Audio Out”を選択します。



3. 【Select】をクリックします。

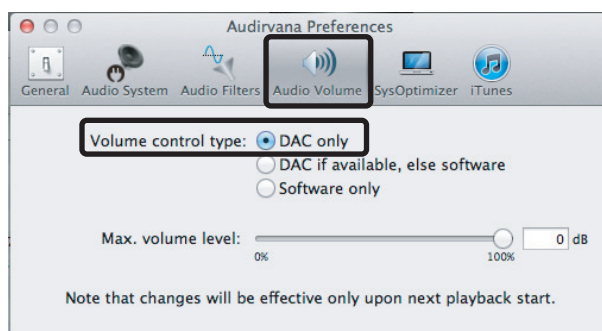


4. “Preferred Audio Device” に “RATOC RAL_DSDHA2 Audio Out” が設定されていることを確認します。また、“Active Audio Device” の「DSD64」表記が緑色になっていることを確認します。



“Native DSD Capability” がDSD over PCM Standard 1.0に設定されていることを確認します。

5. 【Audio Volume】タブをクリックし、“Volume control type” が “DAC only” になっていることを確認します。



以上で設定は完了です。プレイリスト内のお好みのDSD音源を再生してください。
※Audirvana Plusのボリュームは最大（0dB）に設定してください。音楽が再生されない場合があります。